



今月の聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

(テサロニケ I 5:16-18)

『テサロニケの信徒への手紙 I』は、使徒パウロによって紀元50年から52年の終わり頃にテサロニケの人々に贈られた手紙です。パウロはここで、「いつも」という言葉を最初に示します。

私たちの人生は、嬉しいことばかりが続くものではありません。つらく悲しいことのほうが多いかもしれません。しかし、パウロは「いつも」喜んでいなさいと教えます。私たちは、困難や悲しみを感じることがあります。そんなときも祈りなさい、感謝しなさいとパウロは教えます。健やかなるときも病めるときも、喜びのときも、悲しみのときも、富めるときも、貧しいときも、変わらずに感謝しなさいとパウロは言います。この言葉の通りに生きるというのは本当に難しいことでしょう。しかし、この聖句のような人生を生きられるように、挑戦することを私たちは忘れてはいけません。

人生を歩む中で、悲しみの現実を目をむけながらも、心を主に向けるときに、私たちは慰めを見出すことができる。喜ぶことを教えていただくことができる。と、パウロは伝えています。

3月のねらい

- ・新しい生活へ安心してむかおうとする。
- ・神さまに見守られて、大きくなったことに感謝する。
- ・震災にあった人々のことを、思い出して祈る。

月の目標

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 満3
年少 | ・身の回りの始末が、自分でできるようになる。 |
| | ・友だちとイメージを伝えあい、表現する楽しさを知る。 |
| | ・大きくなることに期待をもち、進級することを喜ぶ。 |
| 年中 | ・進級することを期待し、自信をもって生活する。 |
| | ・一年間を振り返り、無事に過ごせたことを感謝する。 |
| 年長 | ・園生活を楽しく過ごせたことを神さまと周囲の人に感謝する。 |



成長の足跡

(進歩と未来)

節分が過ぎ、太陽の上る時間と夕暮れの時間が変わったことがはっきりしてきました。二月の初め、まだ薄暗かった空も今ではすっかり明るくなりました。朝夕はまだ冷え込みますが、日中は太陽のまぶしさと温かさを満喫できるようになり、園庭を駆け回る園児の声や、遊具で遊ぶ姿も春の息吹をいっぱい浴びていると実感させられる暖かく穏やかな日となりました。つい先日まで、インフルエンザに気を使っていたことが嘘のような温かく穏やかな日が続いています。生活発表会では、ふたば組の子どもたちにとっては、人生初めての大舞台となりました。四月初めのクラス発足当時、親との別れに泣いていた子が、堂々とした姿を見せていました。物怖じしている気配は、微塵も感じられないほど成長した、ふたば組のメンバーでした。子どもたちの成長は、本当に素晴らしく、時間と共にこんなに成長するのだと感心させられました。

一年間の締めくくりともいえる生活発表会は、歌を歌うだけではなく、途中で集団での台詞がありました。年少と年中はこのレベルに挑戦しました。集団で台詞を言うことは、並大抵の練習では完成に繋がりません。言葉を覚え、台詞のスピード、さらに文節と文節の間を、全員が計ることが出来なければ、声は一つになりません。日本語の歌だけではなく、英語の歌も披露するレベルの高いものでした。単に覚えたことを人前で発表するという次元ではなく、内容と意味、そして人に伝えるために必要な間を身につけた発表でした。年長児は、姉妹校のある国から、自分たちが調べたい国を選び、同じ国を選んだ友だちと相談して、調べる内容を決めました。この段階で人との意見交換、そして協調性が鍛錬されました。調べる方法においても、どんなものを使うか、どこでどう調べればよいかの情報交換が生まれました。まさに共同研究に近い学習の形態を、子どもたちは実体験しました。調べたことを文字にし、人前でその文章を読んで発表する、将来に必要な全ての学びが込められた発表会であったと、園児たちを誇らしく思いました。

この発表会に至るまでに、個々で調べたり、練習する中で、先生がたの指導において難易度を徐々に高められ、目標値を設定され、その到達段階に到達することで、子どもたち一人ひとりに知的好奇心が芽生えた事は確かです。現在も発表会で調べたことを小さな冊子にまとめ続けています。将来、賢明学院幼稚園から学者が誕生することを夢見ています。

(何時、励ますのか)

人間は生まれた時から、もっと知りたいもっと学びたいという知的好奇心を持っていて、物を考え学習するように出来ていると言われていています。脳には、何かをして上手く行った時、「良い気持ち」になる仕組みが備わっているのです。これは、脳の報酬系機能と言われるもので、「がんばるぞ」という気持ちになれるそうです。反対に、他者と比較されて、うまい下手などの比較評価が、子どもたちの脳内に届くと、子どもたちの知的好奇心は萎えると言われていています。

「もっとしたい」という意欲は、脳の報酬系機能と密接に関係しているのでしょうか。だから、欠点を指摘するだけでは、やる気は生まれてこないと、言われているのではないのでしょうか。

「ありがとう」の子育てという教育の保護者向けの諺があります。

- ・人間としての基礎基本、挨拶(あ)をしつけよう。
- ・自らやり始めた時、みんなと取り組み始めの(リ)ーダーシップが見えた時。
- ・本人が頑張(が)っている時。
- ・到達(と)できた時。完成した時。
- ・上手(う)くいかなかった時。

この五つの場面を、意識してみませんか。その中でも、うまくいかなかった時の声のかけ方が大切でしょう。励ますこと。「それでいいよ。」「よくできていたよ。」子どもにとって、安心の言葉が大切なのではないのでしょうか。

ひなまつり 3月1日(金)

元来、女の子の成長を祈るために行われる節句の年中行事です。
幼稚園では子どもたちの健やかな成長を願って皆でお祝いします。

卒園感謝祈りの集い 3月2日(土)

年長児とその保護者対象(年長組のみ後日詳細)

巣立っていく子どもたちのこれからの活躍を皆でお祈りいたします。
賢明学院のチャペルにて執り行います。
年長児と保護者の皆様はご参加ください。年長児は保育日です。

図書返却 3月4日(月)

2月に借りた絵本を持たせてください。
今回は返却のみで貸し出しは行いません。

卒園式総練習 3月5日(火) 9:15~

年長児は紺短ソックスを履いて登園してください。

リヴィエ・ホールのアリーナにて年長児の卒園式の総練習を行います。
卒園式当日は年中、年少児が休園になりますので、総練習に参加して
卒園式の様子を見学します。

お別れパーティー 3月7日(木) ※今年度午後保育の最終日

1年間一緒に過ごした友だちや、巣立っていく年長児との最後の
思い出作りとしてお別れパーティーを行います。歌をうたったり、
楽しくクラスでランチバイキングをしたりします。
年長児は全園児にパンケーキを作ってデザートコーナーにてふる
まいます。

お知らせ

- ① 当日は幼稚園にてランチバイキングを行います。
- ② パンケーキを食べます。以下の材料を使います。アレルギーのある方は事前に担任までご連絡ください。
使用材料…ホットケーキミックス・卵・牛乳・生クリームホイップ・チョコスプレー・イチゴ

持ち物

ランチバイキング…通常の給食の用意
デザート…パンケーキを入れるお皿(手のひらサイズのお皿)
フォーク(年長児のみの持ち物)
マスク・三角巾(自分で結ぶバンダナタイプのもの)

3月12日(火) 第65回 卒園式 (年長児のみ後日詳細)

賢明学院リヴィエ・ホールのアリーナにて第65回卒園式を挙行いたします。

年中・年少・ふたば組は休園といたします。

(年中・年少・ふたば組の預かり保育は実施いたします。)



卒園児 登園時間 9:00 (各保育室)

保護者 開場時間 9:15 (リヴィエ・ホール)

開式 10:00 (9:50までにご着席ください)

降園時間 12:00過ぎ予定

3月13日(水) 2018年度 修了式

園児は、幼稚園ホールにて修了式を行います。

保護者の皆様は 10:00 に幼稚園集会室にお集まりください。

園長よりお話があります。

終了後、お子様と降園してください。

お子さまの登園 8:30~9:00

車入庫開始 9:40~9:50

ゆり・もも・ふたば組 →幼稚園駐車場縦列駐車

うめ・ばら組 →学院駐車場枠止め駐車

(ドライブスルーは8:30~8:40)

※入庫完了時間に間に合わない場合、警備員の車両誘導はありません。十分に気を付けて入庫してください。

降園予定時刻 11:00

保護者集会を欠席される方

- ① 保護者集会に欠席される方は、必ず事前に担任までご連絡ください。
- ② 保護者集会を欠席された方の園児のお迎えは 11:30以降に幼稚園駐車場に駐車し、お迎えをお願いします。
それまでは駐車場に入庫することはできません。園児降園の安全確保のため必ずお守りください。
- ③ 当日のお知らせ内容や配布資料をお渡しいたしますので、当日中に必ず事務所までお越しください。

お知らせ

3月8（金）より午前保育となります。降園時間を必ずご確認の上、お迎えをお願いいたします。

3月8日（金）・11日（月） → 水曜日と同様の降園方法
※駐車場は学院駐車場を利用してください。20分遅れ→ふじ・うめ・もも組

3月13日（水） 上記の修了式の案内に同じ

おねがい

～必ずお読みください～

- ① 降園後、園庭で遊ばれる方は、必ず片づけをしてお帰り下さい。また、駐車場を利用されている方は、学院の共有場所ですので、降園後は速やかに出庫をお願いします。
- ② 午前保育日は、昼食を食べずに降園しています。降園後の遊びは控え、子どもの健康上、適した時間に昼食をとるように、ご配慮をお願いいたします。
12時には完全降園してください。
- ③ 降園後、園舎内では遊べません。また課外クラブの後も同様にすみやかに、降園をしてください。荷物の紛失や置き忘れ、また大人の見ていないところでの怪我が発生しています。園舎内で走ったり騒いだりすることは危険です。
（ごきょうだいのお子様もご配慮ください。）
預かり保育を利用されているお子様の安全確保のため、ご理解ご協力をお願いいたします。
- ④ 課外クラブからの降園時に忘れ物が多くなっています。制帽や水筒、手袋、サッカーシューズの忘れ物が多く届けられています。お迎えの際に荷物の再確認を、お子様と一緒に行ってください。



2月おつけものデーのご協力ありがとうございました。

皆様からお預かりいたしました献金は、以下の通りでした。

2月 1日（金）おつけものデー ￥23,808

チャイルドファンドジャパンへ送金させていただきました。



寄付金募集のお願い

はじめに…

1872年（明治5年）の学制（明治5年太政官布告第214号）に始まる教育制度は、国家的組織で運用されるようになり、教育内容や指導方法は常に変革してきました。次期指導要領にみられるように、常に時代に即した方向へと教育は変化していきます。変化への瞬時の対応力と変えてはならない賢明学院としての教育理念と教育方法を見極めつつ、賢明学院は教育の開拓者でなければなりません。

創立者の精神に倣うことを再認識し、100周年を迎える基礎固めとして第二期事業を計画するとともに第一期寄付金募集の延長を実施します。

1. 寄付金募集および名称

- 名 称 : 「60周年期成会寄付金」
- 募集期間 : 平成29年（2017年）9月1日～平成31年（2019年）8月31日
- 一 口 : 個人1万円 法人3万円 ※一口以上の寄付は、口単位に縛られない
- 受 付 : 各所属事務室（幼・小・中高）

2. 寄付方法の変更について

これまでのご寄付は園児、児童、生徒たちがより良い環境で学べるように活用してまいりました。今回は皆さまのご意思を反映させるべく目的別に募集することとし、下記の項目を設定しました。お申し込みの際にご選択ください。

- ① 中高人口芝補修
- ② 新校舎のための基金積み立て
- ③ 空調入れ替え（小学校・中高）
- ④ 照明のLED化・水銀灯のLED化（幼・小・中高）

創立100周年を迎えることができるミッションスクールとして、賢明学院に学ぶ子どもたちの明るく輝く未来に資するべく施設・学習環境の充実を図るとともに、時代の要請に応じた教育体制を整えてまいります。何卒、倍旧のご助力を賜りますようお願い申し上げます。

※案内資料のご請求およびご寄付のお申し込みにつきましては、期成会事務局もしくは各所属事務室（幼・小・中高）までお問い合わせください。

期成会事務局 担当：西村・高島

TEL：072-241-2224

Mail：kiseikai65@kenmei.jp